

# 授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)  保育者論	授業の種類  ( 講義 ) ・ 演習 ・ 実習 )	授業担当者  柳田 真理子	当該科目に関する実務経験  保育士
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (2単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] ・ 保育士の定義や現在保育士に何が求められているかなどの課題を踏まえ、専門職としての役割、使命を理解する。 [授業全体の内容の概要] ・ 保育の現場において保育者に求められる働きは多岐にわたるが、その保育者の毎日の働きがどのような意味を持っているのか、そこで尊重していくべきことは何であり何が期待されているのかを考え学ぶ。 [授業終了時の達成課題 (到達目標) ] ・ 保育者の役割と倫理について理解する ・ 保育士の制度的な位置づけについて理解する ・ 保育士の専門性について考慮し、理解する ・ 保育者の協働について理解する			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. 働く目的と保育職について考える 2. 保育者として子どもとどのように向き合うべきか考える 3. 保育現場が求める保育者像とは 4. 園での保育者の役割と信頼について学ぶ 5. 保育者の仕事内容と留意点を理解する 6. 子どもに寄り添う保育者とは 7. ケース・スタディから保育者の仕事を考える 8. 保護者・地域社会と保育者の役割を考える 9. 行事に対する保育者の取り組みを理解する 10. 保育環境の課題と問題点について考える 11. 諸外国の保育の現状と課題を知る 12. 保育者の資質とは何か 13. 自分の保育観について考える 14. まとめ 15. 期末試験			
[使用テキスト・参考文献] ・ 新基本保育シリーズ 保育者論 中央法規出版 ・ 保育所保育指針 フレーベル館			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。			